



おうようけん
 欧陽詢(唐)の九成宮醴泉銘から
 字を集めて、倣書(背臨)で書いています
 九成宮醴泉銘は、「楷書の極則」と
 評されている。字形は、端正、縦長、
 厳格で切れ味鋭い筆法、背勢で
 直線的である。
 全体に、上に狭く、下に広い特徴がある

みずしず
 水静かに落花深し

樹も疎であるから啼鳥の聲も遠い。

(王安石の詩)